

第7回埼玉ラジオ歌謡音楽祭



実施者：埼玉ラジオ歌謡を歌う会
助成事業名：第7回埼玉ラジオ歌謡音楽祭

社会や地域の課題

高齢の方々の居場所がなく、自宅に引きこもっていることが多いです。1日中、誰とも話さなかったということもよく聞きます。ラジオ歌謡とは昭和21年から昭和37年までラジオ番組で放送していた歌のことで、今の高齢者が若い頃、若い頃に聞いていた歌、懐かしい歌なのです。今はあまり聞く機会がなくなったラジオ歌謡を聞けるなら出かけて行きたいと思う方々が多いです。

取組概要及び成果

400人弱の来場者がありました。「楽しかった」「来てよかった」「夫とふたりで来た。夫が本当に楽しそうに歌っていたので嬉しかった」「懐かしくて涙がでた」「ラジオ歌謡を歌って両親を思い出した」などの感想をもらいました。「育った家のおいまで蘇った」という人もいて、音楽療法になります。引きこもりがちな高齢者が楽しみに出かけて懐かしい歌を元気に歌う場所、交流の場、居場所を提供でき、地域の活性化にも微力ながら役立てたと信じます。